

一般教育訓練明示書

講座の名称	健康社会システム研究科 ナースプラクティショナー養成分野				
実施方法	① 通学（ <u>昼間</u> ・夜間・ <u>土日</u> ） ② 通信 スクーリング（回数 回）				
指定講座番号(15桁)	0420137	—	2210012	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積)(10人)	修了者数 (15人)	
年 月 日	令和10年 3月31日まで				
訓練期間	ヶ月		総訓練時間	時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		看護師の特定行為研修、修士(健康福祉)			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省、東北文化学園大学 大学院			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		修得単位数は、30単位以上となる。また、看護師の特定行為研修指定研修機関として指定を受けた研修期間において定められた内容の教育を受けて特定行為研修の修了を認定された者			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		医療業界(病院、クリニック、訪問看護ステーション等)			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
現代医療看護学概論		28.5時間	特に指定しない		
現代地域医療総合講義		36.5時間	特に指定しない		
臨床生理学		24.0時間	特に指定しない		
外科医療病態診断学特論		49.0時間	特に指定しない		
内科学総合講義		50.5時間	特に指定しない		
麻酔・救急・集中医療総合講義		52.5時間	特に指定しない		
フィジカルアセスメント		38.0時間	特に指定しない		
臨床薬理学		35.0時間	特に指定しない		
外科治療学総合講義Ⅰ		36.0時間	特に指定しない		
外科治療学総合講義Ⅱ		50.5時間	特に指定しない		
ライフサイクル医療		30.0時間	特に指定しない		
健康福祉特別研究		35.5時間	特に指定しない		
外科治療学特別実習		290.5時間	特に指定しない		
麻酔・救急・集中医療特別実習		297.5時間	特に指定しない		
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		看護師臨床経験5年以上			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		大学を卒業した者及び卒業見込みの者。なお、その他状況等において事前出願資格審査を行う場合がある。また、日本の看護師国家資格を有し、入学前の3月31日現在で、看護師等としての実務経験が5年以上の者。			
③その他					

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度内の受講修了者数	15	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	15	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	15	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	8	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	8	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	6	人	②A: 就業者計 8人	
	2 非正社員、派遣社員	2	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	5	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 8人	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(	3	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	6	人	④A: 就業者計 8人	
	2 非正社員、派遣社員	2	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業者	0	人		
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 8人	
	2 1割以上3割未満増加した	1	人		
	3 1割未満増加した	0	人		
	4 変わらない	4	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	3	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3	人	⑥の回答数合計 9人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 早期に転職・再就職できる	0	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	1	人		
	7 趣味・教養に役立つ	0	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	2	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 8人	
	2 おおむね満足	4	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満	1	人		
	5 大いに不満	0	人		
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
急性期医療(クリティカル領域)分野に重点を置いた養成を行います。 慢性期医療の講義・実習も充実し、急変対応の能力を高めながら、在宅医療分野でも活躍できる高度な診療看護師を育成します。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		出席率66%(2/3)以上、試験合格率5段階評価(上から4段階以上合格)、補講・追試は認める。 30単位以上修得が必要となり、当該科目に必要な時間数以上を受講していることを確認するとともに、筆記試験、実技試験(OSCE)及び各種実習等により評価を行う			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
年度末に当該科目に必要な時間数以上を受講していることを確認するとともに、筆記試験、実技試験(OSCE)及び各種実習等により評価を行う。					

一般教育訓練明示書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		指導教員との面談だけでなく電話やメールを活用した助言・指導を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		在職者が資格取得のために受講するケースが多いものの、実習施設として実習を行った医療機関への就職も見られる。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	(代表者名: 理事長 石崎 雄司) 学校法人東北文化学園大学		
住所及び連絡先	宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番1号 TEL 022-233-3330		
施設名称及び施設長名	東北文化学園大学 大学院 (施設長: 学長 加賀谷 豊)		
住所及び連絡先	宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番1号 TEL 022-233-6113		
給付制度担当部署・者	大学事務局 教務部 実習教育計画課 (担当者: 課長 奥山 司)		
連絡先	TEL 022-233-6113)		
一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		2,200,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)		200,000 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)		2,000,000 円
	(うち、必須教材費		0 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		671,250 円
	① 副読本代 (税込額)		41,250 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		30,000 円
	③ 施設維持費 (税込額)		600,000 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		円
	3. 総額 (1 + 2) (税込額)		2,871,250 円

〔特記事項〕

--